

一九八七年十二月二十五日
印刷
発行



第70卷 第6号

史学・地理学・考古学

論 説

- 清代湖広の水稲作と棉業……………山 本 進 (1)
乾隆時代の一広域犯罪事件と国家の対応……………谷 井 俊 仁 (33)
——割解案の社会史的素描——
後北条氏領国における流通圏と流通システム……………藤 田 裕 嗣 (73)

研究ノート

- 「雍正篡位」再論……………楊 啓 樵 (114)

書 評

- 坂本賞三編『王朝国家国政史の研究』……………古藤真平・佐藤泰弘・前田禎彦 (143)

紹 介

- 松井透著『イギリス支配とインド社会』(本田毅彦)
神戸大学文学部日本史研究室編『中川家文書』(熱田公)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

古文書学的研究にも、本文書は貴重である。関ヶ原の戦を前にしての前田玄以ら奉行人の書状、黒田孝高の書状、秀成と加藤清正がとりかわした誓紙なども、中川氏や九州大名の苦悩を如実に示している。寛永頃の豊後他領や隣国を探索した聞合帳も、各大名の微妙な点にふれている、等々、読み進むほどに興味のつきないものがある。

これら一群の文書は、江戸時代に度々整理され、三箱に収納されている由であるが、先述の跡目安堵や文禄二年の豊後で六万六千石を宛行った秀吉朱印状は原本がみられるものの、家康以後の黒印状には領知の根本文書がない。藩政の文書（現在竹田市立図書館に約千冊保管）とはちがって、江戸時代中・後期の中川家にとつての「古文書」が、すなわち本文書ではないかとも思われるが、そうした伝存のあり方についても、興味ぶかいものがある。

刊行にあたっては、原文の敢密な翻刻はもとより、人名等の傍注、重要事項の頭注のほか、藤井讓治氏のくわしい解説、さらに人名・地名の索引が付されている。そして何より有難いのは、可能なかぎり関係史料を博搜して年末詳文書の年紀を考証され、

その経過をも解説中に逐一明示されていることである。利用者にとって、この上ない親切な文書集であるといえよう。

本文書が神戸大学の所蔵に帰した事情については、「巷間に流れたものを、今井林太郎教授時代に取得したもの（序）」という以外に明示されていないが、これだけの文書群の散逸を防がれたことに、ふかく感謝しなければならぬ。神戸大学文学部日本史講座は、その今井教授と阿部真琴助教（当時）によって創立された。両先生のあとをうけた高尾一彦教授も本年三月定年退官されたが、本書は「今井・阿部両先生の喜寿のお祝の行事と、高尾教授の退官祝賀行事とを兼ねてなされた」(序)記念出版である。この文書群の散逸をふせぎ、鋭意整理をすすめてこられた三先生の記念事業として、まことに意義ぶかいものがある。学界に貢献するところ大きい文書集として本書を公刊された関係各位のご労苦に対してもふかく感謝するとともに、三先生のいっそうのご健勝とご活躍をお祈り申しあげる次第である。

(A5版 三五二頁 一九八七年三月
 臨川書店 六八〇〇巴)
 (熱田 公 神戸大学教育学部教授)

編集後記

第七〇巻第六号をお届けいたします。本書の特徴は、論説・研究ノートあわせて四本の論稿のうち、三本が中国清朝史に属するものであるということです。それぞれ清代の経済史・社会史・政治史を取り扱った第一級の研究であり、清朝史研究の深化と広がりとをみる事ができます。また藤田論文は、わが国戦国期の領国経済論に流通という視点を取り入れた力作であります。なお、昭和六二年度の史林の刊行費の一部として、文部省学術国際局から昭和六二年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けております。(耳)

一九八七年十月二五日印刷 定価 一〇〇〇円
 一九八七年十一月一日発行 送料五〇円

史 林 第七〇巻第六号（通巻第三四六号）

発行人 京都市左京区吉田本町
 京都大学文学部内

史 学 研 究 会
 理事長 藤 縄 謙 三
 振替京都七五一五五番

印刷所 京都市下京区七条御所ノ内中町五〇
 中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXX No. 6 November 1987

CONTENTS

Articles :

- The Rice Crop and the Cotton Industry in the
Huguang 湖広 Provinces in the Qing 清 Dynasty.....*S. Yamamoto* (1)
- A Wide Spread Crime in the Qianlong 乾隆
Period and the Response of the State*T. Tanii* (33)
- The Flow System and the Market Areas
in the Go-Hōjō 後北条 Territory*H. Fujita* (73)

Note :

- Was the Yongzheng 雍正 Emperor a Usurper?*Yang Chi-Chao* (114)
—Some Further Reflections—

Book Review :

- S. Sakamoto* (ed.), *A Historical Study of Aristocracy
in the Late Heian 平安 Era*.....*S. Koto, Y. Sato, Y. Maeda* (143)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369